



# JSS ニュース

2009年

冬春号

ジャパニーズ ソーシャル サービス

Japanese Canadian Cultural Centre 2nd Floor, 6 Garamond Court Don Mills, ON M3C 1Z5  
電話: 416-385-9200 ファックス: 416-385-7124 Eメール: office@jss.ca Website: www.jss.ca

## 巻頭言

### JSS 会長 前川威男

2008年を振り返って特筆されることの一つは、夏ごろから顕著になった、米国の金融破たんによる世界不況でしょう。専門家ではないので何がどう起きたのか詳細にはわかりませんが、事態が影響して一般の消費意欲が急低下し、物が売れなくなったために経済の悪循環が始まったようで、トンネルの先の光が見えない状態は当分続きそうです。

JFSの時代から数えてすでに20年を超える活動を続けているJSSは、その折々の変化はあったにせよ活動を継続してきました。それが出来たのは、金銭的、物的ないしは精神的に活動をサポートして下さったコミュニティーがあったからです。

先日、ある篤志家の方から例年に引き続き今年も多額の寄付金をいただきました。この方が強くおっしゃるのでお名前を公表することは出来ませんが、この数年毎年多額のご寄付をいただいております。仏教の考え方の一つに「陰徳」と言うのがあるそうです。「徳」を行う場合、その行いが人に知られると「徳」にならないということだと私は解釈しています。そしてJSSの活動を通じて、人知れず徳を積んでおられる方がコミュニティーにたくさん居られることを知ることは心温まることです。

JSSの記録をたどるといろいろな形で、陰に陽にJSSの活動を支えてくださる方や団体の名前が数多く挙げられ、我々が住んでいるコミュニティーにこういった方々や団体がたくさんあることをあらためて誇らしく感じると共に、そういったコミュニティーのために進める活動をおろそかにすることは出来ないと感じます。

冒頭に触れたように、今年は世界的な経済困難が予想されています。そういった環境下でもJSSの活動が続けられるよう、知己縁者の方々にもJSSの存在や活動内容をお伝えいただき、1人でも多くの支援者が得られるよう、皆さんのご助力をお願いするしだいです。

昨年暮れに行った9回目のHoliday Driveでは、連絡会によるJoy of Christmasコンサートの献金の一部の寄付や日系企業を含む多くの団体から寄贈された心温まる品々、多くの皆さんからいただいた沢山の贈り物を、多くのボランティアの手を煩わせてコミュニティーの約30家族、67人の皆さんにお配りすることが出来ました。あらためて、ご協力感謝いたします。

JSSのボードメンバーはもとより職員、多様な場面で活動して下さるボランティアを代表して新年のご挨拶を申し上げますと共に、さらなるご支援をお願いいたします。



壁で困っていませんか?  
そんな時は、JSSへ。

JSSは、日本人・日系人の方々のために、英語と日本語でさまざまな福祉サービスを提供している非営利団体です。

#### 【主なサービス内容】

- ◆ 日英両ヶ国語で行われるサービス
- ◆ カウンセラーによる問題解決のお手伝い
- ◆ 生活に必要な情報の提供、関連機関・施設の紹介や連絡
- ◆ コミュニティ情報の提供
- ◆ 生活に必要な各種ワークショップ、セミナー等の開催
- ◆ トロント治安レポートの作成

# 国際結婚ワークショップの報告

菊池幸工

ジャパニーズ・ソーシャル・サービス

近年、特に増え続けている国際結婚に関する相談や悩みに対応するため、昨秋、4回シリーズでワークショップを開催いたしました。結婚はどのような形であれ、時に様々な問題が二人を悩ませるものですが、特に国際結婚の場合には、夫婦間の言葉の壁や生活習慣の違いなどが問題をさらに難しく複雑にします。また、日本人移住者にとっては、これに加えて、カナダ社会への適応というもう一つの大きな挑戦が加わります。パートナーの家族や友人たちの話に加わりきれない寂しさ抱えながら、英語を身に付け、家庭を築いていかなければならないのです。子育ての方針や双方の家族との付き合い方をめぐって、夫婦の価値観の違いが浮き彫りになることもあります。

国際結婚経験者をパネルに迎えた全4回のワークショップでは、ケース・スタディやディスカッションなどに参加者が積極的に加わる「参加型」のセッションを通して、参加者自身が自分の課題を分析し、そして十分に理解し、そこから自分にとってベストの解決に向けて足取りを進めることができるよう導くことを目的としました。ワークショップは日本語で行われ、参加者のプライバシーを保護するために非公開で開催されました。

4回のセッションは、以下のようにそれぞれテーマを決め、回を重ねるごとに理解が深まるように設定しました。

## セッション1：『ここが知りたい！カナダの国際結婚』～カナダ国際結婚事情

パネリストの嘉納ももさんが、パワーポイントを用いて、主にカナダに住む日本人の国際結婚についてその背景や実態を、統計や自らの研究を基に参加者に説明しました。これにより、カナダにおける国際結婚事情が客観的に理解できました。

## セッション2：『これって国際結婚だから？』～問題の把握

参加者は、国際結婚における問題をポストイットに記入し、予め問題ごとに分類して壁に掲示してある模造紙に貼り付けました。その後、参加者が貼り付けた問題が、実際にその分類に当てはまるかの議論をして問題の把握を行いました。

## セッション3：『なるほど！国際結婚』～問題の分析

4つの「ケーススタディー」を基に、参加者がこれを分析してお互いにアドバイスを与える演習をしました。これは、自分の抱える問題を客観的に捉える訓練になりました。

## セッション4：『国際結婚 わたしのカタチ』～今、自分にできること

最後のセッションでは、参加者が今回のワークショップから何を学んだかを発表しあい、今後の方向性について話し合いました。パネリストも学んだことをそれぞれ発表した後、参加者にアドバイスをしました。

以上の4回のセッションでは、各セッションの終了時ごとに参加者に評価をしていただきました。そして、全セッションの総合評価は5が最高の5段階評価で4.6点という結果でした。さらに、コメントを書いて頂きました。その中からほんの一部を以下に紹介します。

「参加してみて、こんなに充実しているとは思ってなかったので、とても充実感と達成感に満たされた。」

「多くの人の意見を聞くことが出来、これからの生活に役立てたいと思う。」

「自分の問題について、努力の方法が判った。」

「情報交換の場にもなりうるので、4週間で終わってしまうのは残念だし、コミュニティにも家族や友人にもプラスになるプログラムだと思う。」

「自分の中でボヤけていた考えがハッキリとしたように思う。」

「このままずっと定期的に続けられたらいいと思う。」

「絡み合った糸（自分の状況をうまく解釈できなかった部分）が解けた感じがした。」

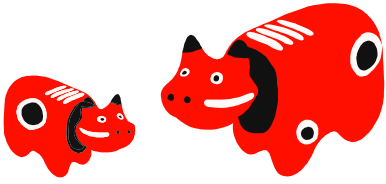
「自分の抱えている悩みはあまりにも込み入っていて気軽に話せる内容ではないし、友達に話しても解決できないものでもあるので、自分の中に閉じ込めてきていましたが、経験者（人生の先輩）、専門家（パネリスト）の方々がご自身の経験から色々フォローしてくださって、自分自身で考える道筋を見せてくださったことがとても良かったです。」

「パネリストの皆さん、参加者の皆さん個人のお話や、優しさに触れられて、心の交流とはこんなに素晴らしいものなのかということが判り嬉しかったです。最終回で自分の問題と解決策を発表した時は、少し自分自身に感動しました。」

コメントはもっとあるのですが、参加した皆さん全員口をそろえて「JSSはこのようなプログラムを継続すべき」との意見を述べていました。今後のワークショップとして「個人史」を振り返るプログラムや、「国際結婚」一般に興味のある人を対象にした公開セミナー、そこから具体的テーマに絞った非公開ワークショップなどが提案されました。

最後に、今回のワークショップ開催に当たり、多大な御協力を頂きました以下の団体に対し、JSSを代表して心からお礼を申し上げます。有難うございました。

●全カナダ日系人協会 (NAJC) ●日系文化会館(JCCC) ●池端ナーサリー



# JSSのカウンセリングについて

カナダでも日本でも“カウンセリング”という言葉をよく耳にしますが、実際に「カウンセリングとはどんなものなのでしょうか？」と聞かれると、いまいちびんと来ませんよね。今回はこの場をお借りして、JSSが日系コミュニティーを中心に提供しているカウンセリングサービスがどのようなものであるかを、簡単に説明させていただこうと思います。

## 【クライアント中心】

英和辞典で Counselling を引くと、“カウンセリング、助言、指導”というふうに日本語に訳されているようです。そのためか、多くの方はカウンセリングとは、「カウンセラーがクライアントに“助言・指導・アドバイス”をすること」と思われているようです。しかしながら、実際のカウンセリングにおけるカウンセラーの主な役割はクライアントが抱えている問題の解決方法を“そのクライアント自身が”見つけ出す手助けをすることです。なぜなら、そのクライアント以上にそのクライアント自身のことを熟知している人間はいないのですから。

## 【ソーシャル・ワークと個人カウンセリングの組み合わせ】

JSS では皆さんがトロントの地域社会になじんでいかれるためのお手伝いと、個人的な問題に関するカウンセリングを行っています。

## 【適切な方向づけ】

カウンセラーは、カウンセリングを通じてゆっくり時間をかけてお話を伺い、それぞれのクライアントに合った効果的な改善方法を“共に”考えます。カウンセラーは私的感情に惑わされることなく、クライアントを良い方向へ導くことを旨としていますので、クライアントの問題を客観的に見るだけでなく、クライアントの身になって考えることが出来ます。

## 【秘密厳守】

JSS クライアントについてのあらゆる情報は秘密事項として厳重に管理されています。JSS カウンセラーを初め、すべてのスタッフやボランティアは必ず秘密厳守の宣誓書を提出し、遵守します。第三者（他の専門家やエージェンシーなど）とJSSが協力して対処するほうがよいケースにおいても、カウンセラーはクライアントからの了承を得なければそのクライアントの情報をその第三者に公開することはできません。

## 【カウンセリングが役立つとき】

- －目の前に大きな問題や悩みがあって、つらいときや苦しいとき；
- －原因ははっきりしないのだけれど、日々の生活に何か圧迫感があり、気持ちの整理がつかないとき；
- －何かを変えないと上手く行かないと知りながら、どうしたらよいか分からないとき；
- －客観的かつ親身になって、聞いてくれる人と話したいとき。

ごく簡単にではありますが、JSSが提供しているカウンセリングサービスについて説明させていただきました。

私がJSSのカウンセラーとして働き始めて約1年半経ちました。本当にたくさんの人たちが様々な理由でJSSにコンタクトされてきます。資金的な制限から、カウンセラーは私一人なので忙しさに追われる毎日ですが、これからも心のこもった、質の高いカウンセリングを提供していけるように精進していきます。

公家孝典（JSSカウンセラー）  
M.Ed Counselling/Canadian Certified Counsellor

# ホリデー・ドライブからの報告

昨年末に実施した「ホリデー・ドライブ（歳末助け合い運動）」も9回目となり、30家族（GTA外の2家族を含む）、67名の方々に、多くのプレゼントとコミュニティーの皆様のお温かな気持ちをお届けすることができました。このプログラムは様々な準備を短期間に集中して行わなくてはならず、ボランティアの役割が大変重要で、今年も20人以上の方々が、ギフトの収集、分割、配達と、幅広く活躍してくださいました。今回は新たに、参加者からのアンケートを実施し、30家族中6家族からの意見、感想を聞くことができました。皆さん、とても感謝していただき、また来年も続けてほしい、来年も参加したいという意見が主でした。特に、子どもたちがとても喜んでくれたということが、印象強く、ホリデー・ドライブの目的である、助け合いと分かち合いの意味が徐々にコミュニティーに理解されてきているということを感じました。

全 美智（ソーシャルワーク実習生）

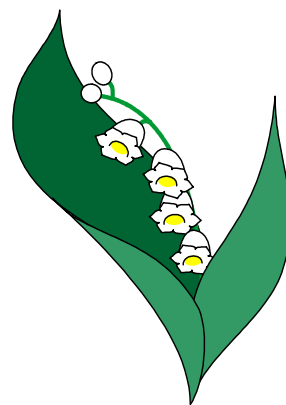
## ジャパニーズ・ソーシャル・サービス

### 年次総会開催のお知らせ

日時：2009年5月28日(木)

午後6時00分 - 議事

午後6時45分 - ボランティアへの謝意表明  
- リフレッシュメント



場所：JCCC (6 Garamond Court, Don Mills)